

# 公共事業再評価調査

整理番号	H24 - 9
------	---------

担当部課名	県土整備部 道路課	電話番号	0 1 7 - 7 3 4 - 9 6 5 1
		E - MAIL	doro @pref.aomori.lg.jp

再評価実施要件	未着工	長期継続 ( 10 年 )	再評価後 ( 年 )	その他 ( )
---------	-----	---------------	------------	---------

## 1 事業概要

事業種別	道路改築事業	事業主体	県 市町村 其他 ( )				
事業名	市町村合併支援道路整備事業	地区名等	岩崎深浦線 岩崎 市町村名 深浦町				
事業方法	国庫補助 交付金 県単独 財源・負担区分	国 % 県 100 % 市町村 % 其他 %					
採択年度	平成 15 年度 ( 用地着手 平成 15 年度 / 工事着手 平成 16 年度 )						
終了予定年度	平成 30 年度 ( 平成 年 月 工期変更 当初計画時 平成 年度 )						
事業目的	本路線の起点・終点の両方で接続する一般国道101号は、青森市と秋田市を結び、広域交流の促進及び沿線市町村の連携強化を図る延長約115kmの主要幹線道路であり、西海岸地域の生活道路であるとともに、津軽国定公園、津軽岩木リゾート地区への観光アクセス道路としての役割も担っている。しかし、国道101号の西海岸部には、急勾配、急カーブ、幅員狭小等の隘路区間が存在し、順次バイパス事業が進められている。当該事業は、(仮)岩崎バイパスに接続するアクセス道(県道切替工事)として事業着手されたものである。						
主な内容	区 分	当初計画時	再評価時	増 減			
	計画延長	1,120 m	1,120 m	0 m			
	計画幅員	6.0(9.0) m	6.0(9.0) m	0 m			
	改良工	966 m	966 m	0 m			
	舗装工	8,700 m <sup>2</sup>	8,700 m <sup>2</sup>	0 m <sup>2</sup>			
橋梁工	1 箇所	1 箇所	0 箇所				
事業計画については、当初計画時と比較して変更はない。							
事業費	当初計画時総事業費 2,100 百万円 (単位：百万円)						
		~ 21年度	22年度	23年度	24年度	小 計	25年度~ 合 計
	計 画 (うち用地費)	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	( ) ( )	1,310 ( 22 )	790 ( 36 )
	年 月変更						
実 績 (うち用地費)	233 ( 13 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	0 ( 0 )	233 ( 13 )	1,867 ( 23 )	2,100 ( 36 )

## 2 評価指標及び項目別評価

### (1) 事業の進捗状況

A · B · C

事業の進捗状況	事業費割合 (うち用地費)		計画全体に対する進捗	年次計画に対する進捗
			11.1 % [ / ]	17.8 % [ / ]
			( 36.1 % ) [ / ]	( 59.1 % ) [ / ]
	主要工種 毎割合 (事業費)	改良工 ( 1,070百万円 )	21.8 %	34.8 %
舗装工 ( 80百万円 )		0 %	0 %	
橋梁工 ( 950百万円 )		0 %	0 %	
説 明	当該工区は、国道101号(仮)岩崎バイパスへのアクセス道(県道切替工事)として平成15年度から事業着手している。国道101号のバイパス整備等については、順次整備を進めている。(別添、整備状況箇所図参照) 公共事業費削減傾向の中で、優先整備工区への重点配分を余儀なくされ、平成18年度より事業休止している。			
問題点・ 解決見込み	現在、国道101号においては追良瀬 期工区を整備中。(平成20年度~平成30年度完成予定) 公共事業費削減傾向の中で、国道101号に係る新規バイパス事業の着手については、慎重な見極め検討が必要。			
事業効果 発現状況	(部分供用なし)			

(2) 社会経済情勢の変化		A	(B)	C
社会的評価	全国・本県における評価	[全国の評価] 平成21年3月に閣議決定された「社会資本整備重点計画」では、地域社会の活力を維持し、豊かな暮らしを実現するため、また、安全で信頼性の高い社会の実現を図るために、選択と集中の方針の下、重点的・効率的に道路整備を進めていくことが必要とされている。 従来の事業評価手法を見直し、道路における防災機能の位置づけを再検討する機運が高まっている。		[県内の評価] 自動車交通への依存度が高い本県にとって、道路整備に対する根強い要望がある。 東日本大震災(H23.3.11)を契機として、これまで道路に必要とされてきた通行機能に加えて、災害発生時の防災機能(緊急物資輸送や避難路等)確保の重要性が再認識されている。
	当地区における評価	本県西海岸地域を南北に縦断する唯一の幹線道路である一般国道101号は、沿線住民の重要な生活道路(ライフライン)として、また、災害発生時の緊急輸送路や避難路として重要な役割を担っている。しかし、国道101号の西海岸部には、急勾配、急カーブ、幅員狭小等の隘路区間が存在するため、早期の現状改善が求められている。		
必要性	本県西海岸地域を南北に縦断する唯一の幹線道路である一般国道101号は、沿線住民の重要なライフラインとして、また、災害発生時の緊急輸送路や避難路として重要な役割を担っている。 国道101号は市町村合併を支援する「市町村合併支援道路整備計画」に位置づけられている。 国道101号の整備により、2次医療圏の中核病院である五所川原市立西北中央病院への搬送時間短縮が見込まれる。 国道101号(仮)岩崎バイパスが事業着手される際には、アクセス道として切替工事の性質を有する当該事業再開の必要性は高い。		(a) . b	
適時性	接続する国道101号(仮)岩崎バイパスの方向性如何によって、当該事業の着手タイミングや事業計画の再整合を図る必要がある。 現時点で冬期閉鎖路線(本路線沿線には集落がない)となっている状況下において、当該事業を先行着手する必要性は低い。		a (b)	
地元の推進体制等	秋田県能代市以北の日本海沿岸市町村長及び地元市町村、議長等で構成される「国道101号整備促進期成同盟会」により早期整備が求められている。 本県のみならず、広域ネットワークの形成のためにも、本路線の機能強化(通行機能、防災機能の向上)を求める声が高い。		(a) . b	
効率性	一般国道101号は、第2次緊急輸送道路として地震等の災害発生時において重要な役割を担う。 本県西海岸部に存在する有数の観光施設へのアクセス道として、観光支援の役割を担う。 平成17年3月31日、旧深浦町と岩崎村が合併(新町名:深浦町) 合併支援効果			

(3) 費用対効果分析の要因変化		A	(B)	C
区分	主な項目	当初計画時	再評価時	増減
費用項目 (C)	(1)事業費	百万円	1,777 百万円	1,777 百万円
	(2)維持修繕費	百万円	57 百万円	57 百万円
	(3)	百万円	百万円	0 百万円
	(4)	百万円	百万円	0 百万円
	(5)	百万円	百万円	0 百万円
	総費用	- 百万円	1,834 百万円	1,834 百万円
便益項目 (B)	(1)走行時間短縮便益	百万円	297 百万円	297 百万円
	(2)走行費用減少便益	百万円	23 百万円	23 百万円
	(3)交通事故減少便益	百万円	-2 百万円	2 百万円
	(4)冬期便益	百万円	58 百万円	58 百万円
	(5)防災便益	百万円	173 百万円	173 百万円
	総便益(B)	- 百万円	549 百万円	549 百万円
	地域修正係数( )	-	1.507	
	修正総便益(B')	- 百万円	827 百万円	827 百万円
B / C	費用便益比(B / C)	-	0.30	
	修正費用便益比(B' / C)	-	0.45	
費用対効果分析 (B / C)	【費用対効果分析手法】(分析手法、根拠マニュアル等)  費用便益分析マニュアル(平成20年11月 国土交通省道路局、都市・地域整備局) 道路整備事業における県独自の費用便益分析実施要綱(平成22年3月 県土整備部道路課)			a (b)
計画時との比較	【計画時との比較における要因変化】  事業着手時点は県単独事業として着手したことから、費用対効果分析は実施していない。 地域修正係数の新たな導入(平成22年3月~)「津軽地方生活圏1.507」			a . b

(4) コスト縮減・代替案の検討状況		(A) · B · C
コスト縮減	<p>【コスト縮減の検討状況】</p> <p>路盤材、舗装合材に再生材を使用し、経費の縮減を図っている。 切土工区から盛土工区へ発生土を流用する等の土工バランスに配慮した工事計画を作成している。 排水施設等の小規模構造物については、工場製品（二次製品）を使用することにより、工期の短縮及び経費の縮減を図っている。</p>	(a) · b
代替案	<p>【代替案の検討状況】</p> <p>現在整備中である追良瀬 期バイパス（平成30年度完成予定）以南の国道101号整備計画如何により、当該路線の事業計画も見直し変更となる可能性を含んではいるが、現時点における県道切替工事の性質を有する当該計画は妥当なものである。</p>	(a) · b

(5) 評価に当たり特に考慮すべき点		(A) · B · C															
住民ニーズの把握状況	<p>【住民ニーズの把握方法】</p> <p>秋田県能代市以北の日本海沿岸市町村長及び地元市町村、議長等で構成される「国道101号整備促進期成同盟会」により早期整備が求められている。</p>	<p>【住民ニーズ・意見】</p> <p>西海岸部を縦断する唯一のライフラインである国道101号の西海岸部には、急勾配、急カーブ、幅員狭小等の隘路区間が存在するため、早期の現状改善が求められている。</p>	(a) · b														
環境影響への配慮	<p>【開発事業等における環境配慮指針への対応】</p> <p>(1)対応状況 配慮している 配慮していない</p> <p>(2)区分</p> <table border="0"> <tr> <td>農林地等の緑地や植生の改変</td> <td>地形や地盤の改変</td> <td>水系や水辺の変更</td> </tr> <tr> <td>海域環境の変更</td> <td>敷地整備段階での重機の使用</td> <td>土砂等の搬入・搬入</td> </tr> <tr> <td>廃棄物処理等</td> <td>道路(車歩道)、雨水排水路の設置</td> <td>基礎や地下建造物の建設</td> </tr> <tr> <td>低層建築物の建設</td> <td>高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮</td> <td></td> </tr> <tr> <td>高架構造物の建設</td> <td>海底・海中建造物の設置や建設</td> <td></td> </tr> </table> <p>(3)特に配慮する対応内容</p> <p>工事及び土砂搬入・搬出の際には、周辺環境に配慮し、低排出ガス・低騒音並びに低振動の重機械を使用する。 表土露出箇所については、景観保全や土砂流出に配慮し植生対応を行う。</p>	農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更	海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬入・搬入	廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設	低層建築物の建設	高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮		高架構造物の建設	海底・海中建造物の設置や建設		(a) · b
農林地等の緑地や植生の改変	地形や地盤の改変	水系や水辺の変更															
海域環境の変更	敷地整備段階での重機の使用	土砂等の搬入・搬入															
廃棄物処理等	道路(車歩道)、雨水排水路の設置	基礎や地下建造物の建設															
低層建築物の建設	高層建築物・大規模施設等の建設に係る環境配慮																
高架構造物の建設	海底・海中建造物の設置や建設																
地域の立地特性	<p>(地域指定) 過疎地域、振興山村地区、農業振興地域</p> <p>(災害の記録) なし</p> <p>(危険箇所情報) なし</p> <p>平成17年3月31日、旧深浦町と岩崎村が合併(新町名: 深浦町)</p> <p>西海岸沿線には、千畳敷海岸、深浦漁港、岡崎キャンプ場、黄金崎不老不死温泉、十二湖リフレッシュ村、世界自然遺産登録「白神山地」等の有数な観光地が存在する。</p>																

### 3 対応方針(事業実施主体案)

総合評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
評価理由	当該事業は国道101号の整備計画に大きく左右されるため、アクセス道として切替工事の性質を有する当該事業は、予算保留のうえ協議中である。今後、地元との再調整や計画変更も視野に入れた見極め検討をしていくこととし、対応方針は「継続」とする。			
備考				

### 4 公共事業再評価等審議委員会意見

委員会意見	対応方針(案)どおり	対応方針(案)を修正すべき		
委員会評価	継続	計画変更	中止	休止(林政課及び漁港漁場整備課所管事業に限る)
附帯意見	(附帯意見がある場合に記載) 当該事業は、今後、事業計画を見直しを進めるとのことから、国道101号の整備計画等との関連を考慮し、現計画を早期に見直した上で、事業再開前に改めて当審議委員会に諮ること。			
評価理由	(委員会意見が「対応方針(案)を修正すべき」の場合に記載)			